

授業科目名： 道徳教育の理論と方法	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名：石黒真愁子 担当形態：単独
科 目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	道徳の理論及び指導法		
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>&lt;テーマ&gt;豊かな心を育む道徳教育</p> <p>&lt;全体目標&gt;道徳の意義や原理等を踏まえ、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解し、教材研究や学習指導案の作成、模擬授業等を通して実践的な授業力を育み、生徒の道徳性を育成するためのよりよい道徳教育の推進、評価の在り方や授業改善を図る指導力を身に付ける。</p> <p>&lt;一般目標&gt;</p> <p>(1) 道徳の理論</p> <p>道徳の意義や原理等を踏まえ、これまでの道徳教育の歴史や今日的課題及び学校における道徳教育の目標や内容を理解する。</p> <p>(2) 道徳の指導法</p> <p>学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解し、生徒のより良い道徳性を育むための実践的な指導力を身に付ける。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <p>(1) 道徳の理論</p> <p>①道徳の本質を理解し説明することができる。</p> <p>②道徳教育の歴史や「特別の教科 道徳」の方向性、今日的課題を理解することができる。</p> <p>③道徳教育の改訂の歩みを理解し、課題意識をもつことができる。</p> <p>④子どもの心の成長と道徳性の発達について理解している。</p> <p>⑤学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科の目標や内容を理解している。</p> <p>⑥家庭や地域社会と連携した道徳教育の必要性を把握することができる。</p> <p>(2) 道徳の指導法</p> <p>①学校における教育活動全体を通じて行われる道徳教育の全体計画や道徳の時間の指導計画の必要性を理解し、作成することができる。</p> <p>②道徳科の特質を生かした多様な指導方法の特徴を理解し活用することができる。</p> <p>③道徳科における教材の特徴を踏まえて、授業設計に活用することができる。</p> <p>④学校や学年段階、実態を踏まえ、明確な授業のねらいを設定するとともに、指導過程を工夫</p>			

し指導案を作成したり、教材・教具を開発することができる。

⑥模擬授業を通して授業改善の視点を身に付けている。

⑦道徳科の特性を踏まえた学習評価の在り方を理解し、評価することができる。

#### 授業の概要

大津でのいじめ問題を発端に、教育再生実行会議で「いじめ問題の対応について」が示されたことを受け、平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校で道徳の時間が「特別の教科 道徳」としてスタートする。この道徳教育の流れが大きく変わるこの時期に、本講義では道徳教育やその要となる道徳科に対する深い理解をもとに、様々な切り口から演習を中心としたアクティブラーニングを展開することを通して、具体的な指導技術や教科理解を身に付けることで、学生たちが教育現場で通用する実践的な授業力を養うことを目的としている。

具体的には中学校学習指導要領の「第I章 総則」および「道徳編」に示された道徳教育の目標、内容、指導計画の作成、授業構想等についての基礎的な理解をもとに、教材研究を進め、指導案作成や模擬授業等を通して実践へと結び付け児童生徒の豊かな道徳性を育成する力を身に付けることを目指している。

#### <授業計画>

##### 第1回：ガイダンス、道徳教育と道徳性

- 授業の方針、年間授業計画
- 道徳教育とは何か、その特質と重要性（テキスト P5～P16）
- 道徳性とは何か。（テキスト P45～P56）
- 道徳授業のオリエンテーションの必要性  
「心に残った道徳授業」「道徳授業について思う事」
- 教材吟味の視点

##### 第2回：道徳教育の変遷と改訂の特色

- 道徳教育の変遷 教科化の社会的背景と改訂の経緯  
(学習指導要領解説P1～P4) (テキスト P19～P44)
- 諸外国の道徳教育 (テキスト P58～P62)

<課題> 「ことばの向こうに」の教材吟味（第4回に提出）

##### 第3回：道徳教育と道徳科

- 道徳教育の目標と道徳科の目標（学習指導要領解説P8～P18）  
(テキスト P68～P71)
- 全体計画、年間指導計画、別葉、指導体制等（学習指導要領解説P69～P73）  
(テキスト P77～P93)

<課題> 「二通の手紙」教材吟味（第5回の提出）

##### 第4回：中学校道徳科の指導内容1、2 (テキスト P73～P75)

- A「主として自分自身に関する事」(学習指導要領解説P25～P34)

参考 読み物教材「火影」(学習みらい社)

B「主として人との関わりに関すること」(学習指導要領解説P35～P42)

参考 読み物教材「ことばの向こうに」(文科省「私たちの道徳」)

<課題>「見沼に降る星」「天使の舞い降りた朝」教材吟味(第5回に提出)

#### 第5回：中学校道徳科の指導内容3, 4

C「主として集団や社会との関わりに関すること」(学習指導要領解説P43～P60)

参考 読み物教材「二通の手紙」(文科省「私たちの道徳」)

「一冊のノート」(文科省「私たちの道徳」)

D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」(学習指導要領解説P61～P68)

参考 読み物教材「見沼に降る星」(東京書籍)

「天使の舞い降りた朝」(廣済堂あかつき)

<課題>「ことばの向こうに」の指導過程を「B 相互理解、寛容」で作成(第6回に提出)

#### 第6回：「特別の教科 道徳」における学習内容と指導方法1(授業構想の基礎・基本)

(テキスト P95～P112)

○教材吟味の視点 ○関連価値

○指導観、教材観、生徒観、ねらい、発問、導入、終末等の指導過程の工夫、話し合いの工夫、  
板書計画等 (学習指導要領解説P74～P85)

<課題>「二通の手紙」の指導過程を「C 遵法精神、公德心」で作成(第7回に提出)

#### 第7回：「特別の教科 道徳」における学習内容と指導方法2

(教材吟味、指導案作成演習)(テキスト P95～P112)

○ねらい ○主題名 ○主題設定の理由

<課題>「見沼に降る星」の指導過程を「D 生命の尊さ」ので作成(第8回に提出)

#### 第8回：「特別の教科 道徳」における学習内容と指導方法3

(教材吟味、指導案作成演習) (テキスト P95～P112)

○基本発問 ○中心発問 ○補助発問 ○導入、終末の工夫

<課題>「天使の舞い降りた朝」の指導過程を「B 家族愛、家庭生活の充実」のねらいで作成  
(第9回に提出)

#### 第9回：「特別の教科 道徳」における学習内容と指導方法4(教材吟味、指導案作成演習)

(テキスト P95～P112)

<課題>「ネット将棋」「卒業文集最後の二行」の教材吟味(第10回に提出)

#### 第10回：多様な指導方法と現代的課題等(学習指導要領解説P94～P101、P86～P106)

読み物教材「ネット将棋」(情報モラル)「卒業文集最後の二行」(いじめ問題)

#### 第11回：評価等について、演習

○教材について(学習指導要領解説P102～P107)

○評価について(学習指導要領解説P107～P112)

(テキスト P114～P121)

○他の教科との関連 (学習指導要領解説 総則編P22～P27)

(テキスト P121～P133)

**第12回：「特別の教科 道徳」の模擬授業体験1及び研究協議と指導案修正1、演習**

○模擬授業を実施し、グループで振り返りを行い、授業改善を図る。

**第13回：「特別の教科 道徳」の模擬授業体験2及び研究協議と指導案修正2、演習**

○模擬授業を実施し、グループで振り返りを行い、授業改善を図る。

<課題>道徳授業の感想、授業改善の工夫の視点についてまとめる。(第14回に提出)

**第14回：「特別の教科 道徳」の模擬授業体験3及び研究協議と指導案修正3、演習**

**家庭・地域との連携等**

**小中の連携、学びの連続性**

○地域人材を生かした道徳授業 ○保護者参加型の授業参観等

(学習指導要領 P100～P102) (テキスト P129～P133)

小学校高学年読み物教材「うばわれた自由」「ブランコ乗りとピエロ」「手品師」  
「その思いを受け継いで」等

**第15回：まとめ、基本事項の総括、「特別の教科 道徳」の今後の課題**

(テキスト P156～P159)

定期試験

テキスト ○文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』2017年

※出版された時点で購入してください。

○「新道徳教育への研究」田中健一、福島良樹著 一粒書房

※こちらは事前に購入してください。購入方法については後日連絡します。

○A4、一枚程度のプリント

参考書・参考資料等

○「道徳の授業で大切なこと」 赤堀博行著 東洋館出版社

○「『特別の教科 道徳』で大切なこと」赤堀博行著 東洋館出版社

○「アクティブラーニングを位置づけた特別の教科 道徳の授業プラン」中学校版  
柴原 弘志 編著 明治図書

○「アクティブラーニングを位置づけた特別の教科 道徳の授業プラン」小学校版  
押谷 由夫 編著 明治図書

学生に対する評価：定期試験50%、レポート50%で評価します。